

学習相談教員__2025

学習の方法や進め方・卒業研究など、修学上の諸問題について、**岡山学習センターの先生方がマンツーマンで相談に応じます。**

お気軽にお申し込みください。

- 無料。一人でもグループでも可。
- 申込が必要ですが、当日の申込もお受けします。
申込みは事務室まで。

<問合せ先:086-254-9240>

- 卒業研究についての相談にも応じます。
 - ・自分が持っている問題意識や考えているテーマで論文を書くことができるだろうか。
 - ・放送大学専任教員の研究分野、専門と自分の研究テーマが重ならない時にはどうすればよいだろうか。
 - ・論文の指導をしてくれる先生はいるだろうか。

～学習相談教員紹介～

田仲洋己所長（岡山大学名誉教授）

専門分野：日本文学



〈学生に向けたメッセージ〉

専門は日本の中世文学で、とくに院政期から鎌倉時代初頭にかけての和歌文学について関心を持ち、『新古今和歌集』や藤原俊成・定家等の歌人について研究して来ましたが、この時代の和歌は王朝物語とも深い関りがあるため、『伊勢物語』や『源氏物語』に代表される平安時代の物語・日記文学にも興味を持っています。豊饒な古典文学の世界に比較的容易な手続きで参入できるのは、或る意味において現代の我々の特権ですが、膨大な研究や注釈の蓄積があるにもかかわらず、まだまだ謎が多く、わからないことだらけです。皆さんの知的な関心に、幾分なりとも応えることができればと願っています。

〈相談テーマ例〉

◎平安時代から鎌倉時代にかけての和歌文学の研究について

『古今和歌集』から『新古今和歌集』に至る八代集やその時代の歌人の研究を志す方の相談に応じます。

◎王朝の物語文学・日記文学の研究について

『伊勢物語』『源氏物語』『狭衣物語』等の物語文学や『蜻蛉日記』『更級日記』をはじめとする日記文学に関心がある方の相談に応じます。

◎その他、平安から中世にかけての古典文学全般について

当方に十分な知識のない作品やジャンルもありますが、わかる範囲で皆様の相談に応じます。

◎日本の近代文学について

専門の研究者とは言えませんが、明治以降の小説や詩歌を読むことも好きなので、できる範囲で皆様の相談に応じます。

稲垣賢二先生（岡山大学特任教授）

専門分野：農芸化学（応用微生物学&生化学）



〈学生に向けたメッセージ〉

人間はもとより、全ての生命の維持に「酵素」が不可欠です。極限環境や土壌中に生育する様々な微生物が生産する有用酵素の探索、立体構造と機能の解析、それらの知見を臨床医薬分野や産業に応用する研究を行っています。農芸化学を一緒に学びませんか？

〈相談テーマ例〉

◎日本で発展した農芸化学とはどんな学問か、どのように勉強したら良いのか。

◎ビタミンと酵素、補酵素の関係

◎健康な暮らしに貢献している微生物と酵素

喜多雅一先生（岡山大学特命教授）

専門分野：理科教育・国際教育協力



〈学生に向けたメッセージ〉

もともと金属錯体を専門としていますが、1993年から教員養成における理科教育が専門になり、併せて1999年からアメリカ・アジア・中東・オセアニアで国際教育協力を続けて来ました。理科教育を通してグローバルな課題解決を考えていきたいと思っています。

〈相談テーマ例〉

◎理科の教材研究・開発

・子どもたちの好奇心を刺激し、わかったという感動を与えられる小学校、中学校、高校の理科教材について紹介や工夫の議論ができれば楽しいですね。

◎理科教育

・AIの時代となりつつある中で、誤った情報に惑わされないためには科学的思考、批判的思考が重要で、AIにはできない創造的思考が必要になってきました。

それらに対応するため、日本の理科教育の動向を世界の動向（社会環境学とシステム思考を取り入れ、どう考えたら良いのかをかんがえています。

科学教育に関する研究に関心のある方、研究相談に来てください。

◎国際教育支援

・今、アフリカのルワンダでのICTを活用した初等理数教育のプロジェクトにも関わっています。開発教育に関心のある人も話をしにきてください。

劔持淑先生（岡山大学名誉教授）

専門分野：英語・英文学



〈学生に向けたメッセージ〉

主に19世紀から20世紀のイギリス小説や短編に関する研究を行ってきました。

E・M・フォースター（1879-1970）の作品を中心に読んできましたが、ヴァージニア・ウルフ（1882-1941）やエリザベス・ボーエン（1899-1973）などの同時代の女性作家の作品も読んでいます。

〈相談テーマ例〉

◎19世紀から20世紀のイギリス小説や短編作品について

・心惹かれる作品があれば、読んでみましょう。登場人物を通して描かれる時代あるいは社会の特徴について考えてみましょう。

齋藤昇先生（岡山大学名誉教授）

専門分野：動物生理学



〈学生に向けたメッセージ〉

私の専門は動物生理学で、特に鳥類であるニワトリやウズラについて研究をしてきました。私たちの体は、体温を一定に保つなど非常に優れた調節系で体の恒常性が維持されているように上手く調節されています。動物生理学に関して興味がある方は、気軽に相談に来てください。

〈相談テーマ例〉

鳥類を特に研究材料として用いて研究してきましたが、動物生理学全般についても結構です。

- ◎動物の生理学についての対策。
- ◎動物の生理学に関する質問。
- ◎動物のみだけでなく、生物全般でも何か質問があれば一緒に取り組みましょう。

堀内孝先生（岡山大学社会文化科学学域 教授）

専門分野：社会心理学・認知心理学



〈学生に向けたメッセージ〉

人間であれば誰しも自分や他者の「心」について興味・関心を持つのは当たり前のことです。我々に「心」があることは疑いの余地がないのですが、しかしながら、「心」を直接見た人は（おそらく）いないでしょう。ここに、科学としての心理学研究の難しさがあります。私は、人間の「心」を理解するためのキーワードは「社会脳」だと考えています。すなわち、人間の祖先は社会生活を営む中で、言語や記憶を始めとする認知機能と脳を共進化させてきたのであり、その最大の産物が「心」であると考えています。実際、我々の悩みの多くは人間関係に起因しますし、欲や感情、偏見による認知バイアスは事実を見る目を曇らせます。私はこのような観点に立脚し、社会心理学と認知心理学の研究を双輪で行っています。皆様には心理学の面白さが伝わるよう、学習相談とゼミを組み立てて行きたいと考えています。

〈相談テーマ例〉

- ◎社会心理学（自己，対人認知，対人魅力，対人関係，集団，社会，文化）に係ること
- ◎認知心理学（感覚，知覚，意識，記憶，思考）に係ること
- ◎心理学の資格や検定に係ること
- ◎心理学統計の勉強の仕方

宮崎和人先生（岡山大学社会文化科学学域 教授）

専門分野：日本語学



〈学生に向けたメッセージ〉

日本語の文法を研究しています。文法と言うと正しい文を作るためのルールというイメージがあると思いますが、言語学者たちの関心は、そのルールを記述することにとどまらず、文法が今のような形にできあがったのはなぜかということにあります。もちろんこれは超難問で、言語の基本ルールは脳に由来すると仮定する自然科学的なアプローチ（普遍文法仮説）もあるのですが、私自身は、人間はただ文を作っているのではなく、文を作ることで出来事を作っているのだという考え方から出発します。出来事は文にしない限り存在しないということです。これに対して「私はさっき先生が太郎を叱っているところをたしかに見た。「先生が太郎を叱った」という出来事は私が文にしなくても存在している」と反論する人もいるかもしれません。本当にそうでしょうか。この人はすでに文で出来事を作っていますね。別の人（例えば太郎の親友）なら「先生が太郎を叱った」と言わずに「太郎が先生に叱られた」と言うかもしれません。この二つは決して同じ出来事ではなく、前者は先生の行為であり、後者は太郎がどうなったかということです。まず出来事があってそれを文に写し取るのではなく、文で出来事を作り出すのです。私たちがフィクションにのめり込めるのも、嘘をつくことができるのも、文には出来事を作り出す力があるからです（ちなみにこれは認知言語学の考え方（現実構成主義）です）。私の考える文法とは、人間が出来事を作り出し共有する手段であり、文法はそのために今のような形にできあがったということになります。

〈相談テーマ例〉

日本語学全般について相談にのりますが、特に以下のようなテーマについては専門的な研究指導が可能です。いずれも言語学をベースにした日本語研究となります。

- ◎ 日本語文法の研究
- ◎ 国語辞典を利用した語彙・文法や語の意味の研究
- ◎ 方言の研究



吉田裕一先生（岡山大学特任教授）

専門分野：野菜園芸学

〈学生に向けたメッセージ〉

農学部では主にイチゴやトマトを対象として栽培技術について研究し、農場での野菜に関する実習教育を担当してきました。

野菜を育てるところから食べるところまで、いろいろな楽しみや苦勞があります。失敗の先にある野菜を見極める眼力や美味しいご褒美を目指して、知識を蓄えて行けばいいなと思います。

〈相談テーマ例〉

◎就農したい、家庭菜園を始めたい

生業にするための人生相談は難しいですが、ハードルの高さはおよそ分かります。成功の秘訣は知りませんが、失敗するパターンはたくさん知っています。

◎野菜の育て方、選び方、食べ方……。

よろず相談、独断と偏見でお答えします。



加来田博貴先生（岡山大学医歯薬学域 准教授）

専門分野：医薬化学

〈学生に向けたメッセージ〉

私が専門とする「医薬化学」は、物質を取り扱う「化学」と薬の効く仕組みに挑む「薬理学」をつなぐ学問です。「化学」の共通言語である「分子」の目で薬が効くしくみを理解すること、また新しい医薬候補を創出することを目指しています。「なぜ、この薬が効くの?」「なぜ、こんな副作用が生じるの?」と言った疑問も含め、一緒に勉強できれば嬉しいです。

〈相談テーマ例〉

◎自分が飲んでいる薬について勉強したい

◎薬局・薬店で販売されている医薬品の選び方を知りたい

◎登録販売者の受験勉強はどうすればいいのか?

谷口抄子先生（元岡山大学准教授）

専門分野：生薬漢方薬学・薬用植物学



〈学生に向けたメッセージ〉

植物から取り出された植物成分は化学薬品医療のもとになっており、近代薬学の基礎を築いてきました。一方、人類は、古来より身近な植物などをそのままの形でも利用して病気に対抗してきました。医療や健康維持に関連する植物について興味のある方は一緒に学びましょう。

〈相談テーマ例〉

◎薬用植物に含まれる成分とその作用

有毒な植物から開発された医薬品もあります。どのような成分が利用されてきたのかなど。

◎漢方薬の利用方法

現代医療の中でも利用されている漢方薬について、その構成生薬や漢方薬の適応について。